

遅羽地区市民意見交換会 議事要旨

○と き：令和4年12月9日（金）午後7時～9時

○ところ：遅羽まちづくり会館

○テーマ：①性別、年齢等にとられない多くの人の参画

②地域防災について

③こども政策について

○出席者：35名

Q1	・限界集落への対策については急務であると思う。地域防災や空き家問題も含めて、地区での共助も限界がある。市長の任期のうちに政策を進めてほしい。
A1	・限界集落に対する特効薬はなく、どう維持していくかが重要である。区の範囲は変えずに、例えば行政協力員を複数地区を管轄するなど、共助ができる範囲を考え直していかなければならない。農村維持にも力を入れ、人がしっかりと暮らせる対応をしたい。
Q2	・郷土愛のある、市外へ行っても戻ってくるような子どもを育てるプログラムを教育に入れていただきたい。 ・若い外国人労働者への支援に力を入れていただきたい。
A2	・前市長の代からエコミュージアムを中心にふるさと教育をやってきた。今後も継続してやっていく。また都会へ行っても戻ってこられるような施策を進めていきたい。 ・かつての対外的な国際交流ではなく、今の時代にあった外国人住民の為の支援を進めていきたい。
Q3	・災害が起こった時、この会館には大勢の人が入ることはできない。既存の施設の中で、どのように地域防災を行っていくのか。遅羽地区の下荒井や比島の住民は、会館に避難してくるのは困難である。
A3	・遅羽地区では、避難所は三室小学校になっている。まちづくり会館は一時避難所である。まちづくり会館を地域の安全安心の拠点として、活用してほしい。実際に避難する際には、必ずしもまちづくり会館に集まるのではなく、それぞれが家庭ごとに設定すべきたと考える。マイタイムラインを作るなど、災害への備えについて説明をしていきたい。
Q4	・中学校再編について、2～3年前からどのように変わったのか。
A4	・今年の3月に再編計画が教育委員会で作成された。現在は、校舎や制服など具体的な基本計画の作成に入っている。基本計画については年度内に仕上げ、来年度には実施計画案を出し、令和9年春の開校を目指している。
Q5	・大野城の天空の城の写真が話題になるが、勝山城もいい写真が取れるの

	<p>で、PRしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南大橋の桜堤防、弁天、荒土の堤防をつなげ、すばらしい桜の名所を作ってほしい。
A5	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果や政策の優先順位の話になるが、検討したい。
Q6	<ul style="list-style-type: none"> ・県道の歩道が冬は使用されないがきれいに除雪されている。不要な除雪はしなくても良いのでは。
A6	<ul style="list-style-type: none"> ・数年前から県道の歩道の除雪は行われていない。
Q7	<ul style="list-style-type: none"> ・下荒井までの県道に道路へせり出た枝が放置されている。折れて落ちると危険であるので、対応をお願いしたい。
A7	<ul style="list-style-type: none"> ・木の枝の剪定については山の所有者の責任であるが、道路管理者の県と話をしていきたい。
Q8	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄された田んぼは他の田んぼへの影響も出てくるし、景観が悪い。農村景観に関する条例を作って、市から警告できるようにしていただきたい。
A8	<ul style="list-style-type: none"> ・景観条例には強制力がなく、施行したとしても実効性がないが、地域できれいにしてほしいという意味での条例や要綱は良いと思う。検討したい。
Q9	<ul style="list-style-type: none"> ・西環状線の街路樹について、幹が2本になっている木が多いが、街路樹としては1本幹の方が適していると思う。
A9	<ul style="list-style-type: none"> ・理解した。
Q10	<ul style="list-style-type: none"> ・元禄線の斜面を利用した流しソーメンをすると良いのではないかと。
A10	<ul style="list-style-type: none"> ・元禄線は歩道を広く取るよう計画しており、やろうと思えば可能であると思う。イベントとしてはおもしろい。
Q11	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道から白山が見えるように、木の剪定をお願いしたい。
A11	<ul style="list-style-type: none"> ・白山についてはずっと見えている必要がないと思う。ビューポイントがいくつかある。
Q12	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料が値上がりして、農家は苦勞している。勝山市でも下水汚泥の肥料化を進めてほしい。
A12	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果や純金属に対するネガティブイメージをどうしていくか考えていきたい。
Q13	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者でゴミ出しの困りごとについて話を聞くことが多い。ゴミステーションを増設することを検討していただけないか。
A13	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションの設置については区の担当になっている。ごみの収集時間に影響がなければ、地区の中で話し合ってください増やすことは可能である。
Q14	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校再編の件、校舎も大事だが、教育内容に重点を置いていただき、高

	志中学校の勝山版になるように市長から働きかけてほしい。勝山高校は定員割れがあり、勝山の中で高い教育を受けられる中高一貫校を検討してほしい。
A14	・受験重視の中高一貫校にすることは考えていない。勝山高校でも探求科を作り、レベルの高い勉強に取り組んでいる。探求科へ地域おこし協力隊の方を派遣し、市とも連携している。学力の底上げも重要であるが、幅広い選択肢や生き方を考えられる場にしていきたい。話は理解した。ご容赦いただきたい。
Q15	・下荒井トンネルが途中で真っ暗になる。見えにくく怖いので対応していただきたい。また、千代田の歩道は途中で切れており、車が多く通るので怖いという声も聞いた。
A15	・いずれも県の管轄になるので、県と協議していきたい。
Q16	・堤防の上の県道の歩道を整備するよう県へ引き続き依頼してほしい。
A16	・毎年市から県へ要望している。なかなか結果が出ておらず申し訳ない。引き続き地元からも声をあげていただきたい。
Q17	・まちづくり会館にはすばらしい資料館があり、多くの方に評価してもらっている。平泉寺も良いが、三室の資料館をもっとアピールしてほしい。
A17	・今、史蹟全体の活用計画を進めている。平泉寺やゆめおーれ、恐竜だけではなく、三室の縄文遺跡にフォーカスを当ててPRもしっかりできるよう検討していきたい。
Q18	・コロナ禍で子どもの医療機関の受診に非常に困っている。勝山市においても小児科の救急を充実していただきたい。
A18	・現在小児科医が絶望的に不足している状況であるが、福井勝山総合病院の小児科をフルタイムで開けられるように引き続きお願いしていきたい。
Q19	・三室遺跡の資料館にエアコンがなく、夏場・冬場は特に困っている。ぜひ設置していただきたい。
A19	・検討したい。
Q20	・以前、市民交流センターへ行こうとしても分からず、旧地場産センターと聞いてやっとたどり着くことができた。広報に施設名を書くときは旧名称も一緒に書いてほしい。
A20	・旧名称は書かずに、住所を入れるようにしたい。

以上